

# アジア地域(日本・中国・韓国)3国間での「ファッションショー及び作品展示」を通じてのデザイン教育の効果と可能性に関する調査研究

## RESEARCH ON THE EFFECTIVENESS AND POTENTIALITY OF DESIGN EDUCATION AMONG 3 COUNTRIES ON THE THEME OF "EXHIBITION AND FASHION SHOW "

.....  
安田 雅子 デザイン学部ファッションデザイン学科 教授  
見寺 貞子 デザイン学部ファッションデザイン学科 教授  
瀬能 徹 デザイン学部ファッションデザイン学科 准教授  
曾和 具之 デザイン学部プロダクトデザイン学科 准教授  
谷口 文保 先端芸術学部クラフト・美術学科 講師

Masako YASUDA Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Professor  
Sadako MITERA Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Professor  
Toru SENOU Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Associate Professor  
Tomoyuki SOWA Department of Product Design, School of Design, Associate Professor  
Fumiyasu TANIGUCHI Department of Crafts and Arts, School of Progressive Arts, Assistant Professor  
.....

### 要旨

現在、日本の教育においてグローバル社会に通じる人材育成が望まれている。本学ファッションデザインコースは、国際的視野での円滑な人間関係やデザイン力を持ち得る人材育成を目的に、2010年、2011年の9月、中国大連市で開催された「中国(大連)国際服装繊維(博覧会)」のアジア3大学のデザイン文化交流会に参加した。そして本学科有志が参加し、ファッションショーと展示で作品発表を行った。

本研究は、中国・韓国関係者との連携や学生たちの国際交流を通じて得られた知見と今後のデザイン教育の課題について報告する。

### Summary

Currently, human resources development leading to the global society in the Japanese education has been desired.

In our University of Fashion Design Course, Product Design Course, Craft and Art Department of Progressive Arts, the purpose of human resources development especially in the international perspective and human relations was started from 2010, 2011 of September in Dalian, with Cultural Exchange participation of three Universities through exhibition and fashion show in "International apparel textile (Dalian) Expo in China".

Here we report on the issues of education and the future design of knowledge which obtained through the international exchange of students cooperation between Universities of Japan, China and South Korea.

1) 目的

現在、個人の感性教育からグローバル社会に通じる円滑な人間関係やデザイン力をもち得る人材育成が必須となっている。そのためには、一国のデザイン教育だけにとどまらず、地域の独自性を活かしながらも、広く教育機関が交流・情報提供しあい、共有できる質の高い教育法を開発できればと思っている。中でも、アジア地域のネットワークを重要と考え、アジア全地域でのデザイン教育の質の向上を目指したい。

2008年10月、本学ファッションデザイン学科は、中国北京市で開催された「日中友好おとな服ファッションショー」に参加した。その友好関係から2010年、2011年9月に開催された中国大連市主催の「中国(大連)国際服装紡織品博覧会」の「アジア3大学ファッションデザイン文化交流会」に参加した。大連工業大学、釜山東西大学校、本学ファッションデザイン学科が参加し、「日中韓ファッションショー及び作品展示」と「シンポジウム」を行い学生作品を発表し好評を得た。

本研究は、中国・韓国関係者との連携や学生たちの国際交流を通じての、時代に応えるアジアデザインの可能性と教育効果に関して報告する。

2) 本プロジェクトの概要

2)-1 プロジェクト遂行のプロセス

2009年11月、大連市政府服博覧会辦公室を訪問した折、同席者の大連工業大学服装学院銭曉農前院長から、「ファッションデザインを学ぶ学生たちでともに何かしたいですね。」という話から、周知の副主任李素珍氏から毎年開催される「中国(大連)国際服装紡織品博覧会」の会場ブースを「これからファッション産業を担う学生たちに提供しましょう。」という提案があった。当時韓国の釜山東西大学校から本校ファッションデザイン学科に交換留学生として来日していた金玟延さんを窓口釜山東西大学校にも働きかけ、本研究のコラボレーション企画が実現された。

2)-2 開催日時及び場所

開催日：展示及びファッションショー

2010年9月4日(土)～7日(火)

2011年9月3日(土)～6日(火)

開催場所：中国(大連)国際服装紡織品博覧会場(写真1)



写真1) 中国(大連)国際服装紡織品博覧会場前

2)-3 作品の選択

卒業生の卒研作品と4年生の前期作品、本プロジェクト参加者2年生の自由作品であった。

2)-4 展示作品パネル

展示内容のテーマ、コンセプトを3カ国語(日本語/中国語/韓国語)で表記した。

2)-5 会場内展示ブースのレイアウト図の作成

大会場内において3大学のレイアウトを統一感のある展示ブースとしてレイアウト案を作成し大連工業大学に企画提案した(図1)(図2)。



図1) 展示ブースレイアウト：デザイン提案作成 瀬能徹

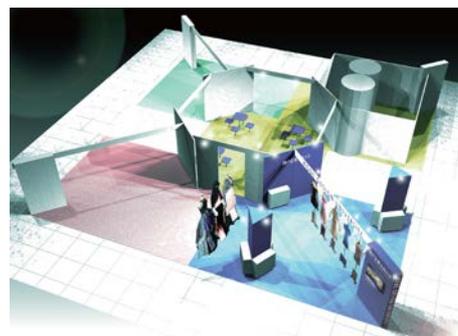


図2) 展示ブースレイアウト：デザイン提案作成 瀬能徹

2)-6 「アジア3大学ファッションデザイン文化交流会」のテーマ、コンセプトボードの制作

ボードの背景は、日本の四季を感じさせる桜の花びらをモチーフにし4色で統一感のあるA1サイズのコンセプト・テーマボードを制作した。それに日本語と中国語、韓国語の挨拶文とを導入した(写真2)。



写真2) コンセプト・テーマボード：制作者 羽柴千尋

2)-7 展示

衣服作品やタペストリー、アクセサリ等も展示し、来場者の興味を引きつけた。来場者は立ち止り、質問をしたり写真を撮ったり。制作方法の質問もあり、参加学生たちも汗をかきながらも一生懸命説明をしていた(写真3)(写真4)(写真5)。



写真3) アジア3大学合同作品展



写真4) 展示準備



写真5) 来場者と交流

2)-8 ファッションショー本番

3大学の共演でファッションショーが開催された。本校の作品は他校に比べ質が高く好評を得た。3大学の学生が舞台上で挨拶をした中、会場から多くの声援があり、学生たちにとっては貴重な体験ができたと考える(写真6)。



写真6) モデル：宮永つばさ

2)-9 「アジア3大学ファッションデザイン交流会」

2010年9月、大連工業大学訪問、釜山東西大学校とともに交流会が実施され参加した(写真7)。



写真7) 大連工業大学訪問 釜山東西大学校と合同

### 3) おわりに

アジア3国のファッションデザインを学ぶ学生たちが一堂に会してファッションショーや作品展示を開催したのはかつてないことである。学生たちはわかる限りの言葉と身振り、手振りで中国・韓国の学生たちや博覧会来場者と積極的に交流を図った。

これをきっかけに将来を見据えて中国企業に認められ、新しい分野に飛び込んだ学生もいる。本人たちの「やる気」と「意志」が一番だが、自身の作品が国際的な場で多くの人々に評価されたということに自信が持てたのであろう。

デザイン教育に、個人の感性教育からグローバルな視点を持ち得る人材教育法を取り入れていくことは重要であることを確信した。アジアデザインの再考と繋がる仕組みを企画実施し、デザイン教育のカリキュラムに組み入れていければと考える。そして学生たちがグローバル社会のリーダー的存在に育ってくれることを期待する。最後に、中国(大連)国際服装繊維品博覧会よりこの企画に対して優秀賞を受けたことを報告する(写真8)。



写真8) 企画優秀賞受賞 中国(大連)国際服装繊維品博覧会場

### 4) 謝辞

プロジェクトの遂行にあたり大連市副市長宇建軍様、中国(大連)国際服装繊維品博覧会理事長高福軍様、大連市政府服博覧会辦公室副主任李素珍様、NPO法人北九州国際文化交流協会顧問袴着英子様、大連理工大学副部長林樂青様には惜しみないご尽力を賜り、誠に感謝に堪えません。

NPO法人 北九州国際文化交流協会、中国(大連)国

際服装繊維品博覧会、大連市政府服博覧会辦公室、大連工業大学、釜山東西大学校、神戸芸術工科大学、交換留学生だった金玟延さん、日本旅行神戸支店からのご提案ならびにご協力をいただき、ここに厚く感謝の意を表します。

作品の出品協力をして下さった卒業生の皆さん、翻訳して下さい黄國賓さん、朴ガランさん、ありがとうございました。そして、プロジェクトに参加したファッションデザイン学科有志の皆さん、お疲れ様でした。

神戸芸術工科大学作品出品者の皆さん(敬称略)

2010年9月

○ファッションショー

4年生：石原誉季、羽柴千尋、疋田真未、宮永つばさ

2年生：新井万基、千頭沙織

卒業生：渡邊洋平、後藤啓介、高岸ともみ、大坪弘明、田中春子、清水洋子、猿渡美貴、宮武孝佳

○展示

4年生：羽柴千尋

卒業生：花畑江梨、白本恵美、正木祐次、須浪智行、猿渡美樹、宮武孝佳、河西真子、水谷芙木、金子悟 迫田恵美、鈴木智子

2011年9月

○ファッションショー

2年生：佐井可奈古

3年生：須崎珠美、中山萌子、西岡万里奈、明角真奈美、横林舞花

4年生：木梨真奈 卒業生：大塚佳子、川部理人、來住郁香、佐々木彩也香 羽柴千尋、疋田真未、中村善幸、宮永つばさ

○展示

3年生：西岡万里奈、明角真奈美、横林舞花

卒業生：大塚佳子、川部理人、來住郁香、中濱みなみ、羽柴千尋、疋田真未、中村善幸、吉田博光、濱田翼 藤井裕美、和田直子、三河達哉

写真撮影 靱井雄太、片山晶博

動画サイト YouTube にて配信

<http://www.youtube.com/watch?v=fMOF-KpKsW4>

[http://www.youtube.com/watch?v=\\_jZHEZ7jOw](http://www.youtube.com/watch?v=_jZHEZ7jOw)